



ふくちやまし

議会だより

No.31

平成12年5月1日
発行 福知山市議会

編集
福知山市議会だより編集委員会
福知山市字内記13の1
☎0773(22)6111



桜の下を登校する子どもたち（昭和小学校）

3月定例市議会の概要

平成12年第2回定例会は3月6日から29日までの24日間に行われて開かれた。この議会では平成12年度一般会計予算など55議案が上程され、延べ14人の議員による質疑、各常任委員会の審査を経て、いずれも原案どおり可決した。

また、地方自治法の改正を受けて「福知山市議会委員会条例」の一部改正（一部文言の整備）を議員提案で行ったほか「警察行政の抜本的な改革を求める意見書」を可決、関係機関に送付した。

◆平成12年度予算

一般会計265億4,000万円、特別会計（15会計）256億900万円、企業会計（3会計）94億7,852万3千円。全会計の総額は616億2,752万3千円で、平成11年度当初予算と比べて18億210万9千円、3・0%の伸びとなった。

◆条例関係

「地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律（地方分権一括法）」の制定による関係条例整備と、介護保険条例、都市計画審議会条例の新設など。

◆平成11年度補正予算

一般会計と老人保健医療事業特別会計、病院事業会計（減額補正）で7億2,285万9千円を補正し、補正後の全会計の総額を635億6,458万円とした。

◆人事議案

人権擁護委員の候補者として向山仁美氏（額塚・62歳・再任）の推せんに同意した。

一般質問

(3月定例会)

日本共産市会議員団

仲林 清貴
藤井 節子
足立 進

議員団予算要求への対応は

問 180項目に及ぶ議員団の予算要求への対応は。また、国に収める必要のない公共料金への消費税の上乗せはやめるべきだが見解は。

答 約50%は共感し、予算化を伴わせた。例えば、基金からの繰り入れを行っての国保料引き下げや、耳鼻科検診の小・中学生全年での実施などを取り組む。消費税は歳出にもかかっているの得上乗せしている。

介護保険制度への備え

問 介護保険で、低所得者の保険料の減額を市独自に実施すべきだが。また、国保加入者は、介護保険と一体徴収となり、滞納者には短期保険証から資格証明の発行に変わり、医療機関での窓口で

10割負担に改善されるが、その対応は。

答 保険料の市独自の減免は考えていない。国保については引き下げを行ったが、資格証明については成り行きを見守りたい。

市民病院改築・厚生会館建て替え

問 建て替えを行う市民病院では、病児の保育を実施すべきだが。

答 当然考えていかなければならない。

問 文化芸術会館の建設を多くの市民は望んでいるが、当面、厚生会館の改修では、音響効果の検討を。

答 反射板は必要で、設置しようと思っっている。

ゴミ減量と冠水対策

問 ゴミの指定袋導入は、新焼却炉の維持費の捻出を基本に考えるのか、それとも、ゴミ減量を基本に考えるのか。

答 ゴミ減量が主体と考えている。

問 駅南・西本町・土師・厚中間屋など、冠水の被害がある地域住民への説明会の開催を。

答 自治会長さんを窓口理解をたまわりたい。

同和行政の終結

問 同和行政は終結すべきだが、新年度の同和関連事業の総額、また個人施策や減免制度の総額は。

答 同和対策の総額は6億7,080万3千円、個人施策は1,423万8千円、減免額は2,146万7千円。

農業振興

問 政府は食糧の自給率向上というが、サミット参加国の中で最低。WTOの枠組みから日本のコメをはずすことを求めているが、国の農政に対する考えは。また、がんばる事業など、農業振興策をもっとすすめ、担い手認定農家の年齢制限を

引き上げる考えは。さらに、地元でとれた農作物を、地元で消費をすすめるために、給食センターなどで活用すべきだが。

答 自給率の向上は農業の基本と思う。ウルグアイラウンド以降、大変きびしい事態と受け止めている。農業振興は「地域活力担い手事業」などで対応していく。担い手は、実状を検討して、引き上げを考えたらいいのではないかと思う。給食センターは入札方式で、必ず地場のものを使っていることにはなっていない。

市道の安全対策

問 市道、岩井・かしの木台線の安全対策は。

答 十分協議し、安全施設もつく



▲市道岩井・かしの木台線の安全対策を

公明党議員団

小野 喜年
今次 淳一

降雪時の歩道の除雪対策について

問 音無瀬橋の歩道は生活路、通路路になっており、雪が積ると自転車通行ができず困っている。労務提供をしてほしい。

答 除雪は車道のみであり、歩道については府より保険料、燃料費、機械損料は助成があるが労務提供は地域の協力を願いたい。

工事期間中の安全対策について

問 内記稲荷踏切は交通量も多く通学路にもなっている。仮囲い等で見通しも悪いので踏切専属の監視人が必要ではないか。

答 学校とも対処しているが、鉄道事業者にも細心の注意をさせるとともに看板等を設置していく。

福知山城と周辺の景観について

問 城の西側と南側は厚水内線の改修で空地部分ができるが、堀を構築して水鳥や錦鯉が泳ぐ環

境整備ができないか。

答 福知山城公園整備構想を作成しており、歩道にマッチしたものを考えているが、地元住民の盛りあがり的大事だと思ふ。観光バスの駐車場は新年度で整備する。

本市在住の外国人の処遇について

問 永住外国人に地方選挙権を付与する法案を国会で審議中だが、本市の状況と考え方は。

答 本市の在住外国人の人口は18カ国から912人でその内20歳以上は828人である。現在国で協議中なので結果を待ちたい。

有害鳥獣に対する取り組みについて

問 本市だけで捕獲数を決め、目標達成しても隣接の尾根から侵入してくる。隣接市町村との話し合い、調整が必要ではないか。

答 地方分権で一部委譲になったが振興局の指導を受けていく。鉄砲による駆除より電気柵が有効なのでこれに力を入れていく。

市民クラブ

芦田 廣
荒川 浩司

「心の教育」の答申から見る中学校クラブの考え方は

問 生徒数の減少により、団体クラブの維持が難しい。水泳、体操等の新しいクラブの要望もあり「心の教育」の答申にも、スポーツクラブ制の設置とあるが、本市教育委員会の考え方は。

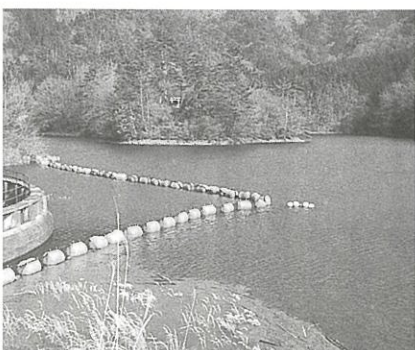
答 平成12年度から全校クラブ制の義務化がなくなり、平成15年度から、週5日制となる。学校スポーツから生涯スポーツに変わって行くこともあり、すべて学校が引き受けることはできない。

生涯学習社会における福知山市の「心の教育」のあり方について
【答 申】
平成11年10月
福知山市社会教育委員会
【目 次】
生涯学習社会における福知山市の「心の教育」のあり方について【要旨】
1 1 (1) 1
2 1 (2) 1
3 1 (3) 1
4 1 (4) 1
5 1 (5) 1
6 1 (6) 1
7 1 (7) 1
8 1 (8) 1
9 1 (9) 1
10 1 (10) 1
11 1 (11) 1
12 1 (12) 1
13 1 (13) 1
14 1 (14) 1
15 1 (15) 1
16 1 (16) 1
17 1 (17) 1
18 1 (18) 1
19 1 (19) 1
20 1 (20) 1
21 1 (21) 1
22 1 (22) 1
23 1 (23) 1
24 1 (24) 1
25 1 (25) 1
26 1 (26) 1
27 1 (27) 1
28 1 (28) 1
29 1 (29) 1
30 1 (30) 1
31 1 (31) 1
32 1 (32) 1
33 1 (33) 1
34 1 (34) 1
35 1 (35) 1
36 1 (36) 1
37 1 (37) 1
38 1 (38) 1
39 1 (39) 1
40 1 (40) 1
41 1 (41) 1
42 1 (42) 1
43 1 (43) 1
44 1 (44) 1
45 1 (45) 1
46 1 (46) 1
47 1 (47) 1
48 1 (48) 1
49 1 (49) 1
50 1 (50) 1
51 1 (51) 1
52 1 (52) 1
53 1 (53) 1
54 1 (54) 1
55 1 (55) 1
56 1 (56) 1
57 1 (57) 1
58 1 (58) 1
59 1 (59) 1
60 1 (60) 1
61 1 (61) 1
62 1 (62) 1
63 1 (63) 1
64 1 (64) 1
65 1 (65) 1
66 1 (66) 1
67 1 (67) 1
68 1 (68) 1
69 1 (69) 1
70 1 (70) 1
71 1 (71) 1
72 1 (72) 1
73 1 (73) 1
74 1 (74) 1
75 1 (75) 1
76 1 (76) 1
77 1 (77) 1
78 1 (78) 1
79 1 (79) 1
80 1 (80) 1
81 1 (81) 1
82 1 (82) 1
83 1 (83) 1
84 1 (84) 1
85 1 (85) 1
86 1 (86) 1
87 1 (87) 1
88 1 (88) 1
89 1 (89) 1
90 1 (90) 1
91 1 (91) 1
92 1 (92) 1
93 1 (93) 1
94 1 (94) 1
95 1 (95) 1
96 1 (96) 1
97 1 (97) 1
98 1 (98) 1
99 1 (99) 1
100 1 (100) 1

▲「心の教育」の推進、発展を

核燃料輸送時の事故対応は

問 過去に核燃料を積んだトラックが本市を通過した記録があ



▲防災監視カメラ設置工事予定の豊富用水池

豊富用水池の防災対策について

問 カメラによる堤体の監視について。安全強度の検証及び耐震診断について。

答 利用者や関係団体の意見を聞き、検討していきたい。

総合福祉会館の駐車場充実を

問 障害者の方や介護保険の施行により総合福祉会館の利用が増大するが、前庭に駐車場整備の考えは。

答 事前の連絡はない。消防庁の防災マニュアルを参考にしたい。今後は府との情報連携をとる。

答 望遠で遠隔操作のできるカメラを設置し、池をはじめ洪水吐け、堤体等を、昼夜監視ができるようにする。昭和38年、43年に補修工事をし、セメントミルク等を注入して万全を期している。建設省において定期点検を実施し、平成11年11月に完了している。

問 旧焼却炉の解体処理の内容及び残留物処理について。
答 施設の解体後、不燃物埋立て処理とする。煤じんや薬物

旧焼却炉解体工事について

問 府としての機能が一応終了した。立地企業と市内企業との連携で産業基盤の強化と産業振興につながる事業を積極的に行う。

問 (仮称) 企業交流プラザとして整備にあたった経緯と今後の考え方について。

長田野会館移管について

(苛性ソーダ)等は適正な処理を行い安全指導を含め万全を期す。

福政会

- 片山 照雄 和泉すゑ子
- 荒木 治清 芦田 弘夫
- 武田 光正 野田 勝康
- 大西 肇

市街地の雨水対策について

問 昨年の6、9月の集中豪雨により西本町、北本町(NTT・昭和小学校)周辺で多くの住宅が浸水し、水害から遠のいていた住民は大きな不安を抱いている。この解決には雨水槽を新設し、ポンプで西川なり下水道本管に強制圧送するなど発想の転換が必要では。

答 昨年の住宅浸水は、時間雨量59ミリ、30分で49ミリというまれに見る降雨でやむをえない。西川は延

長1、250m中、738mが浚渫を終え、12年度で完了する。なお、西川の河床を12、13年度の2カ年で1m掘り下げ、流水断面の拡大をはかり水はけを良くする。西本町の雨水はケヤキ通りの方向に雨水管を布設する事を検討したい。広小路線の昭和小学校運動場の雨水は学校用地内に水路を新設し、雨水が道路に流出しないよう検討したい。持原池の改修とともに、府においても弘法川と西川の合流点から下流を浚渫していただいたので成果が期待される。



▲思わぬ浸水に見舞われた昭和小学校前付近

問 和久市テニスコートからの流出雨量は夏の夕立程度でも周辺住民に多大の不安を与えている。この不安を払拭するため、側溝のルート変更と土砂除去が必要では。
答 和久市テニスコートから昭和小学校区間の排水は、当面、状況を見ながら検討したい。

地方分権と市町村合併について

問 新地方制度発足に伴い、市町村合併を促進するための制度が整備された。21世紀の地方自治の在り方を考える時、近隣市町村の合併問題は避けて通ることができないと考える。近隣市町村や上級機関の動きはどうか。
答 国は促進しようとしているが、机上のプランのように思う。国は実際のことが分かっていない。

3町が合併した場合、下水問題一つにしても差がありすぎ、市民は納得しないだろう。府としても強制的にはならないだろうから、しばらく成り行きを見守りたい。

住民情報システムについて

問 本市の住民情報システムのセキュリティ対策は万全か。また、個人情報保護条例の制定をするべきと思うが。
答 本市の住民情報については、ホストコンピュータ方式で情報管理をしている。末端から漏洩することはない。個人情報保護は管理の運用でやっていく。

有害鳥獣対策について

問 有害鳥獣対策の京都府なり本市の12年度の予算内容は。4月から有害鳥獣に関する権限が委譲されるがその内容は。
答 京都府の対策費は全体で9、100万円、主なものは、駆除費に1、800万円、防除施設の設置に5、500万円、造林地の被害防除に1、200万円組まれている。市の予算は駆除隊の出勤報奨金と捕獲奨励金に370万円、その内、一部単価を増額している防除施設の設置に960万円、新規事業と

状況を見ながら検討したい。



してイノシシの捕獲柵設置補助として75万円を予算化している。権限の委譲は、駆除をするときの許可と許可書を発行する事務である。

はばたきプランについて

問 はばたきプランの達成見込みは。

答 プラン達成については、これまでの計画を見直ししながら、達成できるよう努力する。

問 世の中の半数は女性である。本市の審議会、委員会への女性登用率を30%近くに向上させる

とともに、女子職員を管理職に登用すべきでは。また、男女共同参画都市宣言や男女平等基本条例を制定するなど女性政策の推進は。

答 各種審議会、委員会等の女性の割合は11・7%となっております。

新政会

12年度予算編成について

問 新年度予算は基金の取り崩しはなく評価できるが、経常収

答 経常収支比率の算定は現段階では難しいが、12年度はほぼ

り、府下では高い方の登用率であると思う。管理職には、すでに39人の女性を登用し、消防士にも採用している。また、農村協議会の設置、他市との交流やフォーラムなど女性政策の推進にも取り組んでいる。

乳ガン検診について

問 安心で検診精度の高いマンモグラフィを導入しては。

答 市民病院・ルネス病院ではすでに導入している。

市街化調整区域について

問 制度の緩和をしてはどうか。

答 難しい問題であり、中央の審議会を見守りたい。

井上	重典	穂田	司正
森田	泰英	松本	良彦
田中	泰治	加藤	弘道
塩見	仁	田淵	弘

横ばいか若干下回る見通し。公債発行残高は292億4、954万円の見通しで、11年度とほとんど変わらない。

問 経済不況にかかる税収入の減少と固定資産の評価替えによる影響は。

答 個人市民税は前年の決算見込を基準に考えたが、恒久的な減税と法人税率が下がってきているのが打撃である。固定資産税は住宅地が前年比3・8%落ち、商業地は8・1%下落し、税額では6・6%減の苦しい予算編成となっている。

問 経常経費抑制の中、重点施策等への対応とキャッチアップは。

答 5%節減をした。健全財政を維持していくため、基金の取り崩しはせず、地方債も少なく計上して、市民の命と健康と暮らしを守り、21世紀に橋渡しをする予算である。

地域社会づくりについて

問 リサイクルプラザと市民病院の整備計画は。

答 リサイクルプラザはボーリング調査や技術評価書等を国へ申請するが足掛け3年はかかる。市民病院は基本的には全面改築の時期に来ているが、住民の命の問題であり、ソフト・ハードの両面にわたり、できるだけことはや

商工振興について

問 市街地商店街の活性化に向けての施策は。

答 商工予算の構成比1%は画期的なこと。ポツポランド2号館の用地購入、屋根をつけて子どもたちが安全で見やすくするとか、空店舗対策、カラー舗装、まちかどラボ、踊りのモニユメントなどの事業を進めていきたい。

文化振興について

問 (仮称)「芦田均記念館」の整備計画は。

答 元総理の生家であるので保存して、地域の振興につながるものを地元とよく協議しながら、整備の具体化をはかりたい。

問 (仮称)「丹波衣の館」の整備計画は。

答 平成8年3月に2千点寄贈していただき、今、郷土資料館で保管している。旧ハローワークも改装していかねばならないので、しばらく待つてほしい。

農業集落土地利用構想について

問 府営ほ場整備事業、由良川改修にかかる戸田移転用地の造成や移転対象外地区の整備は。

答 農地と非農用地を明確に区分して優良農地をほ場整備。戸田移転問題は70戸の移転用地6haの基本計画・設計に予算計上をした。対象外地区については、意見をとりまとめ中であり、内容をよく検討したい。地元構想の市民農園、合理化施設等の各種計画は、市として資金援助は難しいが相談に応じたい。



▲農業集落土地利用構想策定地域（西中筋地区）

農業振興について

問 水田農業経営対策の推進具体策は。

答 集落営農を中心に農区単位で地区計画を策定し、生活者と関係者が一体となって取り組み、担い手農家及び地域営農組織の育成をはかる。

問 中山間地直接支払制度のあらましは。

答 農村の高齢化が進み労働力がなくなってくる中で、何としても土地は守つていかねばならない。北部旧6カ村と上六人部が地区として指定を受ける。急傾斜地の農地を守ることで地域に直接交付金が出される。

自民クラブ

大型事業に対する財源措置は

問 駅南事業の保留地処分状況と課題、連続立体交差事業の土地買収状況は。

答 駅南は50億円ほどの保留地があり、事業の財源になるので、早急に処理しなければならない。連続立体交差事業の土地買収は80%完了し、あと20%は篠尾新町他の用

地が解決しないと先行きしない。

公設地方卸売市場の運営について

問 公設市場の累積赤字対策として、一部土地を開発公社に売却し、一時的な手当をされたがその後の対策は。

答 今となれば、利用量以上の大きな施設を作り累積赤字を膨らませた。建設費の償還が終わるまで、赤字経営になるが、市場を縮

小したり整理する気持ちはない。

問 市場除雪作業契約業者が、市場内を除雪せずに他の駐車場施設の除雪をしたことは、目的外使用で契約違反ではないのか。

答 朝4時から6時の間に市場の雪をかき、その後、他へ除雪作業に向かったとのこと、今後、そのようなことがないように注意した。

同和教育子ども会について

問 補助金を受けている子ども会組織の決算が不明確で不審な点が多い。これまでの答弁は、事務局の報告のみで納得できない。決算書類の公開を求めるが。

答 見る権利、知る権利はあるが一般的に言われるものについては、それ相応の機関で監査が、されるべきと思う。

問 担当職員は同和教育を柱とする業務を『何をしても構わぬ』という不合理な状態を作り出している。それは職務を逸脱し、業務等を利用した私物化になっていると思うが見解は。

答 ご指摘を真しに受け止め、改めるべき所は改める。

市町村合併について

問 市町村合併に向け、京都市を除く府内43市町村で行財政調

査会が作られたが、市長の所感は。

答 市町村合併は国の方針だ。府でも調査会を作り音頭取りをやっているが、府内では機運がないようだ。調査会では「自主的に機運が出てこない」と、国からの押しつけはうまくいかない」と申し上げた。

国道176号の管理と改良について

問 国道176号天座一本松より坂浦トンネルに至る区間及び下野条、行積区間までの融雪装置の設置を強く要望しているが、その後の進捗状況は。

答 坂浦区間は詳細設計が終わったと聞いている。新年度水源地買収となる。下野条区間は、平成12年度に調査設計に入る。

問 天座一本松付近の道路改良の進捗状況は。

答 平成11年、12年度で用地買収する。

問 坂浦トンネル内の照明が非常に暗いという苦情があるが。

答 平成11年度に調査が行われている。

問 府道下野条上川口停車場線の改良促進状況は。

答 府の財政が非常にきびしいが何とかやらなければならない。

総務委員会

当委員会に付託された議案は、平成12年度一般会計予算と平成12年度用品調達事業特別会計予算、地方分権の推進を図るための関係法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定他9件、平成11年度一般会計補正予算他1件の、14件について審議を行った。その概要は、市税収入において市全体の所得の約85%を占める給与所得の分析では11年中に給与所得の伸びる要素は全くなく200万円以下の層が増え課税標準額も一律に減となり、法人市民税も法人税率の改定と景気の低迷により伸び率は前年比22%減の78%を見込んだこと。また、歳出については、京都創成大学

市民厚生委員会

平成12年度一般会計当初予算について、福祉関係では児童福祉、老人福祉、労働諸費など、市民部関係では斎場利用の現状、清掃手数料やゴミ処理問題などが議論された。さらに、同和対策費、環境衛生費、塵芥処理費などを巡っての質疑も行われた。また、平成12年度の国民健康保険事業特別会計予算については、滞納者の問題などが質疑された。他の特別会計の老人保健医療事業特別会計、産業廃棄物処理事業特別会計、新しく設けられた介護保険事業特別会計予算についても質疑を行い、特に介護保険事業特別会計については、介護保険システム

施設整備支援、長田野会館移管に伴う経費、厚生会館改修経費、「丹波衣の館」整備、集会施設等地域振興対策、北近畿タンゴ鉄道の支援、自主防災組織育成補助、消防救助工作車の更新などを審議した。

さらに、今回の手数料に関する条例の改定による事務量の増加や市民負担増はないかなどを審議した。予算執行にあたっては、工夫と経費節減をはかること、しっかりと現状分析に基づいた第3次総合後期計画策定を求めるとの要望があった。

以上、当委員会に付託された全議案、全員賛成で原案通り可決した。

常任委員会の審査報告

の変更、ケアプランの作成状況、啓発パンフレットの新規作成などについて質疑が行われた。

病院事業会計では、院内保育所、職員宿舎、人工透析の増床、総合通信システム構築、医事電算システムの導入などについて質疑された。

また、一般会計補正予算では、地方バス路線維持費補助金について質疑があり、今後市民の交通手段の確保に務めるとの答弁がなされ、付託された議案は、すべて原案通り可決し審査を終えた。

経済委員会

経済部・下水道部・公営企業部
所管の議案審議結果

当委員会に付託された議案は、平成12年度一般会計予算など、17議案を21、22日の両日、慎重に審査した。長田野会館の市への移管は、会館の一部を企業交流プラザ等に活用し、促進協議会が商談などの企業活動の場所として検討する。また、中山間地域等直接支払交付事業は4月から測量し、図面作成をする予定。その後、7日村に説明し集落協定の準備、今年10月には申請し、中山間地の活性化を期待するものである。

る。戸田の調査設計は築堤に伴う約70戸の移転地選定であり、戸田周辺の農用地の無秩序開発・建築を避けるため、土地利用構想により移転用地を計画していく。商工業振興費の顕著な伸びは、商工業の振興、活性化にける意欲の現われでもあり、府下では本市が先頭をきって中心市街地活性化基本計画による事業を進めており、ポッポランド整備関係の工事に、2、800万円、SL屋舎建設に2、500万円、案内看板に300万円をかけた整備を行い、入口アーケードはSLが見えるように高いものにするなどが明らかにされた。審議の後に各議案ごとに採決した結果、議第74号と追加提案の議第116号は賛成多数で、他の15議案は全員賛成で、全議案とも原案承認可決した。

文教建設委員会

当委員会に付託された平成12年度一般会計予算他8議案、平成11年度補正予算他4議案の計14議案について全委員で慎重に審査した。12年度予算全体では、国・府とも財政状況が厳しい中で予算編成で、当初予算は国・府の補助が受けられる範囲での予算とし、市税交付税等の歳入を重視し、市単独費の支出を抑える事業手法の研究、工夫をしていくとの説明があった。他に予算関係では、秋津が丘住宅の建て替え、市営住宅使用料の激変緩和措置と滞納状況、市道前田観音寺線整備、市街地の冠水対策、少子化対策、緊急雇用特別対策事業、修学奨励

金給付事業、民間幼稚園支援補助、校庭開放事業などについても掘り下げた質疑を行った。さらに、特別会計では、駅南の9号拡幅と保留地処分などについて質疑し、駅南は14年度完了予定だが9号改良は後になると、今後の保留地処分が課題であるとの説明、答弁があった。

他に地方分権一括法にかかる条例の一部改正、都市計画審議会条例の制定についても審議した。

追加提案のあった議第116号以下5議案についても質疑を重ね、事業費の繰越等の補正の妥当性を認めた。

以上の経過で審査を終了し、採決の結果、議第74号、113号、116号は賛成多数、他11議案は全員賛成で、いずれも原案承認可決された。

3月定例会で提出した意見書

●警察行政の抜本的な改革を求める意見書
我が国は、以前から世界に例をみない治安のよい安全な国家といわれてきた。また、事実、その安全を国民は享受してきたといえる。
これはやはり温良な我が国民性ととも、社会の安寧と秩序維持機構である警察機構が国民の信頼のもとに健全に機能してきた結果であると考えられる。
しかしながら、最近、昨年の神奈川県警をはじめとする警察の不祥事が世情を騒がせており、なかでも新潟県の少女監禁事件をめぐっての、県警のみならず管区警察局までが当事者となった数々の醜態は、国民の警察に対する信頼を著しく失墜させるものであり遺憾の極みである。
このことは、綱紀の弛緩は勿論であるが、これまで我が国の安全を支えてきた警察機構が時代に合わなくなってきたことのあらわれとも考えられる。
よって、この際、政府におかれては、国家公安委員会や警察の身分制度をも含めた警察行政全体のあり方を抜本的に見直し、国民の信頼回復と安全確保に努められるよう強く要望する。

●提出先
内閣総理大臣
自治大臣
警察庁長官
国家公安委員長

2月臨時市議会の概要

2月臨時市議会が7・8日の両日に開かれ、上程された平成11年度一般会計、簡易水道事業特別会計他3件の補正予算と、条例の一部改正2件の7議案を審議し、いずれも原案どおり可決した。

◆補正予算

一般会計で2億3,549万4千円を追加し、補正後の総額を301億3,994万7千円とし、特別会計4件では3億7,274万4千円を補正、補正後の特別会計の総額を236億5,754万1千円とした。

▽一般会計の補正の主なもの

●都市計画街路厚水内線事業費
1億3,600万円

●広域営農団地農道整備事業費
1,875万円

●福知山市駅周辺土地地区画整理事業
6,419万4千円

▽特別会計の補正の主なもの

●豊富簡易水道集中監視システム整備事業
5,000万円

●牧、上六人部地区公共下水道管布設工事等
1億9,840万円

●農業集落排水福知山北部地区緊急整備事業
5,050万円

●連続立体交差事業用地等整地費負担金
6,419万4千円

◆条例改正

市職員及び市民病院職員の育児休業中における期末・勤勉手当の支給に関する規定の整備

議会日誌

【2月～4月】

《2月》

1日 議会運営委員会、各派幹事会

3日 全国市議会議長会基地協議会総会

7日 議会運営委員会、臨時市議会本会議、各常任委員会

8日 臨時市議会本会議、全議員協議会

10日 京都市市議会議長会（京田辺市）

15日 全国市議会議長会評議員会

17日 全国市議会議長会高速自動車道通過市議会協議会総会

18日 全国市議会議長会広域行政圏市議会協議会総会

23日 全議員協議会

28日 議会運営委員会、各派幹事会、由良川改修促進特別委員会

3日 文教建設常任委員会視察（校庭開放）

6日 定例会開会（施政方針・提案理由の説明）、全議員協議会、常任委員長会

8日 議会運営委員会

14日 本会議（質疑）

16日 本会議（追加提案・質疑）
17日 本会議（追加提案質疑・質疑・委員会付託）

21日 各派幹事会
22日 各常任委員会、各派幹事会

28日 各派幹事会
29日 本会議（委員長報告・採決）、総務委員協議会、全議員協議会、議会運営委員会、議会だより編集委員会

《4月》

11日 議会だより編集委員会
17日 議会だより編集委員会
18日 近畿市議会議長会総会
21日 向日市議会視察来市
27日 国立市議会視察来市

編集後記

「財源がない分、知恵を絞った」と中村稔市長が語る2000年度ミレニアム予算が3月定例会で可決され、『命を大切に
する市民福祉の充実と環境にやさしいまちづくり』をめざし、来る21世紀に向かってスタートしました。

「予算は時の市政の顔」と言われており、私たち議員も決意を新たに、より一層充実した議会活動に頑張っております。